

# 令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	209	学校名	仙台市立五橋中学校	校長名	佐藤 全
------	-----	-----	-----------	-----	------

1 取組のタイトル、テーマ  
「身近なところから着実に」



2 取組の紹介

(1) 紙の使用の削減

生徒会や、各学年の学級委員がアンケートをする際に紙に印刷したものを使用するのではなく、ICT機器のアンケート機能を活用し、アンケートを行うことでむやみに紙を使用することが減り、集計の時間短縮にも役立っています。紙の使用を減らすことで資源の有効活用や、日々限りある資源を大切にすることの重要性を実感する機会となっています。

(2) 古紙回収

本校では、各クラスに古紙回収のためのかごが設置され、余ったプリントや必要のないプリントを毎月、奉仕委員が回収するようにしています。委員会の際には、名前入りのプリントなどの個人情報には細心の注意を払い、分別して回収するようにしています。使用したものをただ捨てるのではなく、回収し再利用できるものは改めて使用するという、資源のサイクルを理解することができています。

(3) プラゴミ回収

教室のゴミ箱を、燃えるゴミとプラゴミに分け、分別して捨てるように指導しています。プラゴミについては、月に1度の委員会で美化委員が回収をしています。授業の中や、日頃の生活で分別することの大切さを確認しています。



(4) ペットボトル・キャップ回収

ペットボトルは中身をきれいに洗ってキャップとは別に捨てるようにしています。ペットボトルキャップも回収できるよう、専用の箱を設置しています。ペットボトルがどのようにリサイクルされるのか学ぶ良い機会になっています。



(5) 緑化活動

本校では生徒会を中心に、春と秋の年に2度、校内の花壇に季節の花を植える活動をしています。配置や配色のバランスなど、見栄えに気を付けて苗を植えています。水やりも、花の根に届くよう意識して取り組んでいます。仙台の中心地に位置している本校を華やかにし、自然を大切にすることを育んでいます。



3 取組の成果 (児童生徒の変容)

最近では、「SDGs」という言葉を聞く機会が多く、温暖化の抑制や節水・節電、紙の削減など、環境問題に対して関心が高い生徒が多いように感じます。本校でも、日常的なゴミの分別や緑化活動等を通して、「身近なところから着実に」環境問題に向き合おうとする態度を養っています。今後も、より環境に優しい行動を心掛けペーパーレス化や緑化活動に取り組んでいきたいと思っています。